

Text/Atsushi TAMADA CG/Kenta KITAGAWA (ldk) , Soma YOKOI



Monthly Theme

鉄骨が天然素材と共鳴する TYPE-Bの 白バージョン誕生

デイトナハウスの特長である、パウダーコーティングを施した鉄骨。新たに登場する艶消し白バージョンは、天然素材と共鳴して独特の雰囲気と抜け感のある空間を作り出します。

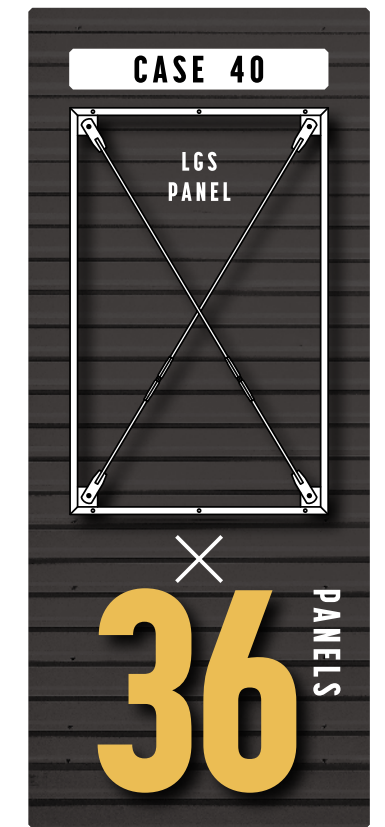
デイトナハウス×LDKと言え
ば、艶消し黒の鉄骨が作り出す、男
らしい洗い空間性を最前面に打ち出
してきましたが、この粉体塗装焼き
付け(パウダーコーティング)という
技法は白色にも独特の雰囲気をつ
くれます。今回は規格住宅「TYPE
B」のホワイトバージョンをガレ
ージ無しタイプの「OL(オープンライ
フ)」で紹介いたします。

て、一定の仕上げ精度を保っている
のです。艶が出たペンキ塗装の鉄骨
は、皆さんも色々なところで見かけ
ると思いますが、一気に鉄の魅力が
半減したイメージになります。一方
マットな風合いは、焼き付け塗装な
らではのもので、耐久性とカッコよ
さを併せ持つ仕上げ方法。バイクや
キャンプ用品に至るまで、マット塗
装のカッコよさが再認識され始めて
います。艶がないことによって、鉄
の素材感や重量感が素直に伝わって
くる。厚みと重厚感、奥行きを感じ
させてくれるのです。

この、奥行きのある白の素材感
はナチュラル系の床材と実によく共鳴
して、清々しさをいつまでも保つ、
飽きのこない空間を作り出します。
観葉植物を多めにディスプレイする
ことで、さらにナチュラルで飽きの
こない空間性は完成するのです。

デイトナが提案する
新しい建築のカタチ

DH×L
DAYTONA HOUSE×LDK



What's DAYTONA HOUSE ?

デイトナハウスを構成するのは、LGSと呼ばれる軽量鉄骨のパネルで、厚さ3.2mm、幅12.5cm、厚み5cmの「Cチャンネル」と呼ばれる部材を、横幅180cm、縦270cmの長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスしたパーツは、「ブレース」と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。「柱」と「梁」と呼ばれる縦と横の部材を使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、デイトナハウスはこのLGS パネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。つまりこのLGS パネルを使った建物全てがデイトナハウスと言う訳です。パネルの枚数を数えるだけで、建築の広さ、およその予算がイメージできる分かります。パウダーコーティングが施されたその鉄の素材感が醸し出すハードボイルドな空間のテイストも持ち味です。

www.daytona-house.com

● INFORMATION
LDKinc.

代表: 玉田 敦士
www.ldk.co.jp
03-6228-4933

デイトナをはじめ、カーマ
ガジンでの長期連載、ムック
本である CAR&HOME
にて、常にクルマと住宅の
関係について提案し続けて
きた建築プロデューサー
LDK inc. 建築設計はもち
ろんのこと、建築システム
の開発や商品開発も行う。

2F INTERIOR

2Fの床を支えるトラス梁もデイトナハウスの特長です。言わば“手作りの梁”。今では滅多にお目にかかりません。この愛すべきローテクが長い間の愛着を保証してくれるのです。庭に面した大開口のダブルブレースも空間にアクセントを与えてくれ、北欧家具とも相性抜群です。



1F INTERIOR

このプランはTYPE-BのOL (OPEN LIFE) と呼んでいるタイプです。ガレージが別となる分、広々とした吹き抜け空間が持ち味です。また2Fはあえて初めから間仕切りを設定せず、住まい手が自由に空間を分節できるように設定。メインベッドルームは1Fに配して、2Fは家族構成や家族の成長に合わせて間仕切りを考える。スパンが飛ぶ、鉄骨住宅ならではの自由性なのです。

FLOOR PLAN

